





廿七廿七 廿九廿九 三十三十 三十一三十一 三十二三十二 三十三三十三 三十四三十四 三十五三十五 三十六三十六 三十七三十七 三十八三十八 三十九三十九 四十四十 四十一四十一 四十二四十二 四十三四十三 四十四四十四 四十五四十五 四十六四十六 四十七四十七 四十八四十八 四十九四十九 五十五十 五十一五十一 五十二五十二 五十三五十三 五十四五十四 五十五五十五 五十六五十六 五十七五十七 五十八五十八 五十九五十九 六十六十 六十一六十一 六十二六十二 六十三六十三 六十四六十四 六十五六十五 六十六六十六 六十七六十七 六十八六十八 六十九六十九 七十七十 七十一七十一 七十二七十二 七十三七十三 七十四七十四 七十五七十五 七十六七十六 七十七七十七 七十八七十八 七十九七十九 八十八十 八十一八十一 八十二八十二 八十三八十三 八十四八十四 八十五八十五 八十六八十六 八十七八十七 八十八八十八 八十九八十九 九十九十 九十一九十一 九十二九十二 九十三九十三 九十四九十四 九十五九十五 九十六九十六 九十七九十七 九十八九十八 九十九九十九 百百

御改新曆早合點

是までの曆の支那の法ありて大陰曆と云ひて月輪の我世界をひとまわりするを
 の日を以て一月と為し一年の中を大さ小違ひを生ずるなり故に今世界
 中を用ひらる大陽曆と云ふて綿密なる善き曆あるを知らず何故大陽
 曆と稱せりと云へば我此世界の眼に見ての動くぬきなりとど一晝夜一度
 独樂のやうに自轉するなり之を一日とせ又独樂のやうに自轉するなり
 日輪を大まわりし一周する元の所へ来るを一年とせ此日数三百六十五日九
 六時(是までの時分)ありてさして月輪の周をかまるとして此世界が日輪を一周
 するること小基きて建てる曆るれば大陽曆と云ふなり此曆の大小の毎
 年同トありて其上閏年もありあり今迄の曆との違ひの曆の
 二倍と一度覚ゆるに数千年の間年々大小並ふ閏と由に知らるなり

大	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
小	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三
	廿	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	三十	三十一
	廿	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	三十	三十一
	廿	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	三十	三十一

神武天皇即位紀元二千五百三十三年即
 明治六年、平年、三百六十五日
 四年めと閏あり
 明治八年、閏年、三百六十六日

閏のある年あるは是までの年より一月多くあるといひ一日多くあるといひに
 して二月の限り一日を加へ廿九日とする閏年の四年目小一度ある者ありて来る二千五百
 三十五年明治八年の閏年あり夫より子丑の平年ありて二千五百三十八年明治十一年の閏年あり夫より先
 順々小操まれば自づから知るなり
 此閏年を知る善き法あり若前の閏年を忘れず時其求るとして明治六年あるれば
 其六小一を加へ七とあり之を三小て割るとしてその時の割切れざるあり此割切れざる
 年の平年なり割きれる年の閏年と知るべし又紀元よりの年数を置き其
 三小て割ると見ても同一とありありの割切れると割きざるをて平年と閏年の區別するあり

閏年を知る歌

明治六年年小一つをさし加へ三小割るなり
 大の月を知る歌
 一と二の七と三と八より此中を丁とて大と考ふる

月の日数を知る歌

二月の二十ハ閏二十九で小は二十大一日ハ廿

此曆の西洋の月日由同一とありて大に便利あり獨り魯西亞の曆の十二日も
 故に我新曆の毎月十三日の魯西亞の朔日と知るべし

明治五年壬申十一月 東京に於て 藤澤親之誌

よる

七時酉の八時戌の九時亥の十時子の十一時丑の十二時寅の十三時卯の十四時辰の十五時巳の十六時午の十七時未の十八時申の十九時酉の二十時戌の二十一時子の二十二時丑の二十三時寅の二十四時卯の二十五時辰の二十六時巳の二十七時午の二十八時未の二十九時申の三十時酉の三十一時戌の三十二時子の三十三時丑の三十四時寅の三十五時卯の三十六時辰の三十七時巳の三十八時午の三十九時未の四十時申の四十一時酉の四十二時戌の四十三時子の四十四時丑の四十五時寅の四十六時卯の四十七時辰の四十八時巳の四十九時午の五十時未の五十一時申の五十二時酉の五十三時戌の五十四時子の五十五時丑の五十六時寅の五十七時卯の五十八時辰の五十九時巳の六十時午の六十一時未の六十二時申の六十三時酉の六十四時戌の六十五時子の六十六時丑の六十七時寅の六十八時卯の六十九時辰の七十時巳の七十一時午の七十二時未の七十三時申の七十四時酉の七十五時戌の七十六時子の七十七時丑の七十八時寅の七十九時卯の八十時辰の八十一時巳の八十二時午の八十三時未の八十四時申の八十五時酉の八十六時戌の八十七時子の八十八時丑の八十九時寅の九十時卯の九十一時辰の九十二時巳の九十三時午の九十四時未の九十五時申の九十六時酉の九十七時戌の九十八時子の九十九時丑の百時寅

ゆ